

リスキリングのすすめ

How to



<https://www.pref.gunma.jp/site/reskilling/>



かわら版

2024
第4号

会社でリスキリングどう進め、どう実践していくかお悩みの方は必読です！

モデル事業参加企業に聞いてみました！



群馬県では、リスキリングに取り組むモデル企業の創出に取り組んでいます。効果的な学習方法や業務で実践するための工夫など、現状の取り組みを教えてくださいました。

【1週間あたりの平均学習時間は約1.5時間（90分）】

- 業務時間の中で工夫して、学習時間を確保していました。

※学習動画の倍速視聴や移動の車中での耳学習など、1週間あたりの学習時間が平均6時間!?という強者もいました。



【学習時間の確保に向けた参加企業の取組事例】

①会社が学習スペースを確保（製造業O社）



職場で学習の際、周りの目が気になる。



会議室を学習スペースとして提供



②受講者同士で一緒に学習（建設業S社）

- 現場対応など、まとまった学習時間が確保できない人もいるため、週に1度、決まった場所・時間に集合し、受講者同士で一緒に学習している。

月	火	水	木	金
	各自のペースで学習		一緒に学習 	

【学習内容を業務で実践するための取組事例】



①受講者同士で学習内容を共有（製造業S社、建設業S社）

- 定期的に受講者同士で、学習内容、感想や気づき、社内業務の課題解決に活かせるようなスキルや考え方を共有・議論する場を設けている。

②経営層の関わり（製造業S社）

- 月に1度、学習状況などを報告する場を設け、社長から受講者への期待を伝えることで、モチベーションアップや実践の意識づけを図っている。



③学んだことを職場で試してみる（サービス業K社、製造業T社）

- 学習内容を業務の中で使ってみることで、小さな成功体験を蓄積している。
- <例えば>
- ・DXのロードマップを作成し、社内会議で提案。
 - ・デザイン思考のフレームワークを用い、会議でのアイデア出しを活性化。

【今回のまとめ】

- ベネッセコーポレーションの調査によると、学習効果を高めるためには、次の3つの組織としての取組が重要とのこと。今回の取組事例からも、学習時間を確保し、業務の中で実践するためには、この3つが有効であることがわかりました。

- ✓ 「期待」（会社として期待していることを伝える）
- ✓ 「サポート」（進んで学習するためのサポートがある）
- ✓ 「活用機会」（学んだ内容を提案・活用する機会がある）

問合せ先：群馬県 産業経済部 労働政策課 人材活躍支援室 リスキリング推進係

✉ rouseika@pref.gunma.lg.jp ☎ 027-223-3403